

NEWS RELEASE

「Brilliant60s＝輝ける 60 代」2,000 人に聞いた「シニアのリアル調査 2017」結果より 第二弾

11 月 22 日は“いい夫婦の日”今どきシニアのいい夫婦像。

「配偶者に内緒で買ったものはない」が 66%。でも、“ヘそくり”はしっかりと。

～女性シニアのヘそくりは平均金額 138 万円と男性シニアの 2 倍超～

株式会社あおぞら銀行(代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：馬場信輔、本店：東京都千代田区)は、日本の 60 代を中心とするチャレンジ精神旺盛でアクティブな世代を「Brilliant60s＝輝ける 60 代」と名付け、ポジティブな人生をおくるサポートをすべく、シニア層のお客さまへの資産運用コンサルティングに注力しております。

あおぞら銀行では、この Brilliant60s 世代に注目し、コアとなる全国の 55～74 歳の男女約 2,000 名を対象にした「シニアのリアル調査」を 2014 年から毎年実施しております。今回は、“いい夫婦の日”に因み、得られた回答からシニアの夫婦像の実態を紐解きます。

<調査結果概要(詳細は別紙のとおり)>

1. 「配偶者・パートナーに内緒で買ったものはない」と回答したシニアは、男女ともに 6 割以上。

～一方、内緒で買ったもの 1 位は「株式」～

★配偶者・パートナーに内緒で買ったモノやコトの有無について聞いたところ、「内緒で買ったものはない」と答えたシニアは全体の 66.4% (前年比 0.1 ポイント増)で、買い物における夫婦間の隠し事は少なかった。男女別では、男性シニアは 65.0%(前年比 3.1 ポイント減)、女性シニアは 67.8%(前年比 3.4 ポイント増)だった。

★一方、「内緒で買ったものがある」と答えたシニアのうち、何を買ったのか聞くと、1 位は「株式」(17.2%)だった。男女別では、男性シニアは「株式」(23.5%)が多く、女性シニアは「指輪、ネックレス、イヤリング」(19.5%)が 1 位だった。

2. 配偶者とのイベントは「食事に行く」が 1 位に。

～プレゼントを贈るシニア、プレゼント金額の実態と理想は 2 倍の差～

★配偶者の誕生日にどんなことをしているかを聞いたところ、「食事に行く」が 40.7%、「プレゼントを贈る」が 25.3%だった。結婚記念日では「食事に行く」が 32.4%、「プレゼントを贈る」が 8.1%だった。(いずれも複数回答可)

★配偶者へ贈るプレゼント金額の実態と理想に関する質問では、実態の平均金額は 6,600 円(前年同額)である一方、理想の平均金額は 13,500 円(前年比 1,600 円減)と、前年から実態と理想の差は縮まったものの、依然として 2 倍以上の差となった。

3. 夫婦での旅行、平均金額は国内旅行 93,600 円、海外旅行 404,600 円。

～夫婦でいく旅行より、子どもや孫との旅行に多くの費用をかけるシニア～

★夫婦での国内旅行の費用(平均金額)は 93,600 円(前年比 200 円増)と、前年と同水準の結果となった。夫婦でいく海外旅行の費用(平均金額)は 404,600 円(前年比 5,700 円減)となり、前年からやや減少した。

★一方、夫婦以外の同伴者別でみた旅行費用は、子供や孫との国内旅行 142,400 円(前年比 800 円増)、子供や孫との海外旅行 490,200 円(前年比 6,100 円減)と国内・海外とも夫婦での旅行費用を上回った。ほかに、友人との国内旅行 54,400 円(前年比 1,800 円減)、友人との海外旅行 208,200 円(前年比 4,500 円減)、一人での国内旅行 43,400 円(前年比 1,100 円増)、一人での海外旅行 200,500 円(前年比 3,600 円減)という結果だった。

4. 「内緒で買ったものはない」夫婦でも、“ヘそくり”はしっかり確保。

～平均金額 99 万円。男性シニア 58 万円、女性シニア 138 万円と 2 倍以上のひらき～

★ヘそくりの有無について聞いたところ、43.7%のシニアがヘそくりを持ち、その平均金額は 99 万円(前年比 1 万円減)だった。男女別では、男性シニアは 58 万円(前年比 9 万円減)、女性シニアは 138 万円(前年比 6 万円増)と、2 倍以上の差があった。

以上

あおぞら銀行「シニアのリアル調査」2017

【調査目的】

シニアの方々の暮らしぶり・老後の意識・資産運用・旅行や外食・趣味・お子さまやお孫さまについてなど、様々な視点からお金に関連する実態やその意識を調べる。

【調査対象者】

全国 55～74 歳の男女 合計 2,070 人

【調査内容】

インターネット調査 2017年6月14日(水)～2017年6月16日(金)実施

【金融資産背景】

当調査対象者の平均金融資産額：50代後半 1,654万円、60代 2,092万円、70代前半 2,317万円

一般(二人以上の世帯)の平均金融資産額^(*)：50代 1,650万円、60代 2,202万円、70歳以上 1,963万円

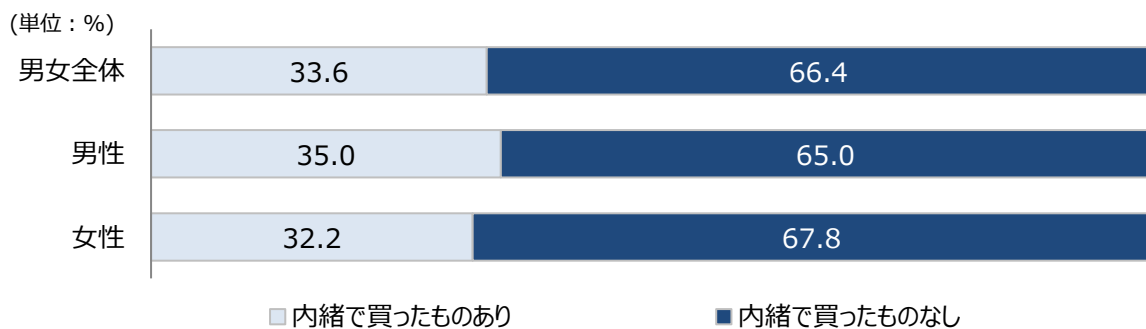
(*)出典：2016年金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」調べ

<調査結果詳細>

1. 「配偶者・パートナーに内緒で買ったものはない」と回答したシニアは、男女ともに6割以上。 ～一方、内緒で買ったもの1位は「株式」～

質問：これまでに配偶者(夫/妻)・パートナーに内緒で買った最高額のモノやコトは？その金額は？

【図1】「配偶者に内緒で買ったもの」があるか



配偶者・パートナーに内緒で買ったものの有無について聞いたところ、「内緒で買ったものはない」と答えたシニアは全体の66.4%(前年比0.1ポイント増)で、前年同様、買い物における夫婦間の隠し事は少なかった。男女別では、男性シニアは65.0%(前年比3.1ポイント減)、女性シニアは67.8%(前年比3.4ポイント増)だった。(【図1】参照)

【表 1】「配偶者に内緒で買ったもの」と金額

順位	全体(n=541)	割合 (%)	平均金額 (万円)	男性シニア (n=285)	割合 (%)	平均金額 (万円)	女性シニア (n=256)	割合 (%)	平均金額 (万円)
1	株式	17.2	528.7	株式	23.5	527.8	指輪、ネックレス、イヤリング	19.5	76.9
2	指輪、ネックレス、イヤリング	12.4	70.3	パソコン	17.2	18.7	洋服・コート	12.9	21.0
3	パソコン	11.5	18.3	時計・腕時計	11.2	35.9	投資信託	11.7	531.4
4	投資信託	10.0	602.8	カメラ	9.5	13.4	株式	10.2	530.9
5	時計・腕時計	9.1	32.9	投資信託	8.4	696.8	着物	7.0	145.4

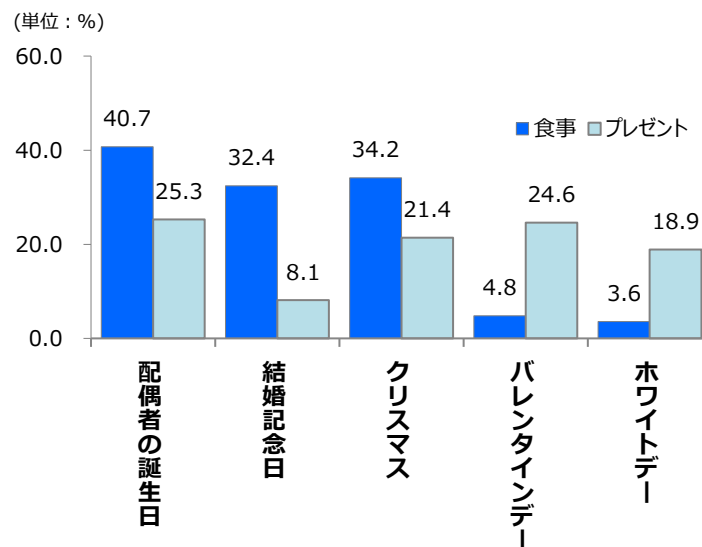
割合 (%) は配偶者がいる人目づつ「内緒で買ったものがある」と答えた人ベース。平均金額は購入者ベース

一方、「内緒で買ったものがある」と答えたシニアのうち、1 位は「株式」(17.2%)、2 位は「指輪、ネックレス、イヤリング」(12.4%)、3 位は「パソコン」(11.5%)だった。男女別に見ると、男性シニアは 1 位「株式」(23.5%)、2 位「パソコン」(17.2%)、3 位「時計・腕時計」(11.2%)に対し、女性シニアは 1 位「指輪、ネックレス、イヤリング」(19.5%)、2 位「洋服・コート」(12.9%)、3 位「投資信託」(11.7%)であった。また、平均購入金額は、「株式」で男性 528 万円、女性 531 万円、「投資信託」で男性 697 万円、女性 531 万円など高額なものも見られる。(【表 1】参照)

2. 配偶者とのイベントは「食事に行く」が 1 位に。

～プレゼントを贈るシニア、プレゼント金額の実態と理想は 2 倍の差～

質問：普段、以下のイベントではどんなことをしていますか？

【図 2】配偶者とのイベントにおこなっていること～「食事」「プレゼント」抜粋～


各記念日別におこなっていることを聞くと、「食事に行く」「プレゼントを贈る」シニアが多数おり、配偶者の誕生日に「食事に行く」と回答したシニアは 40.7%、「プレゼントを贈る」が 25.3%。結婚記念日には「食事行く」が 32.4%、「プレゼントを贈る」は 8.1%と回答された。(【図 2】参照)

【表2】 普段、以下のイベントでおこなっていること

(単位：％)

	食事	プレゼント	旅行や パーティー等の イベント	その他	特に何もしない ／該当しない
配偶者の誕生日	40.7	25.3	3.5	0.7	42.1
結婚記念日	32.4	8.1	4.3	0.2	61.2
クリスマス	34.2	21.4	3.7	0.8	50.8
バレンタインデー	4.8	24.6	0.2	0.2	71.8
ホワイトデー	3.6	18.9	0.2	0.1	78.2

※複数回答可なため、合計が100%にならない場合があります。

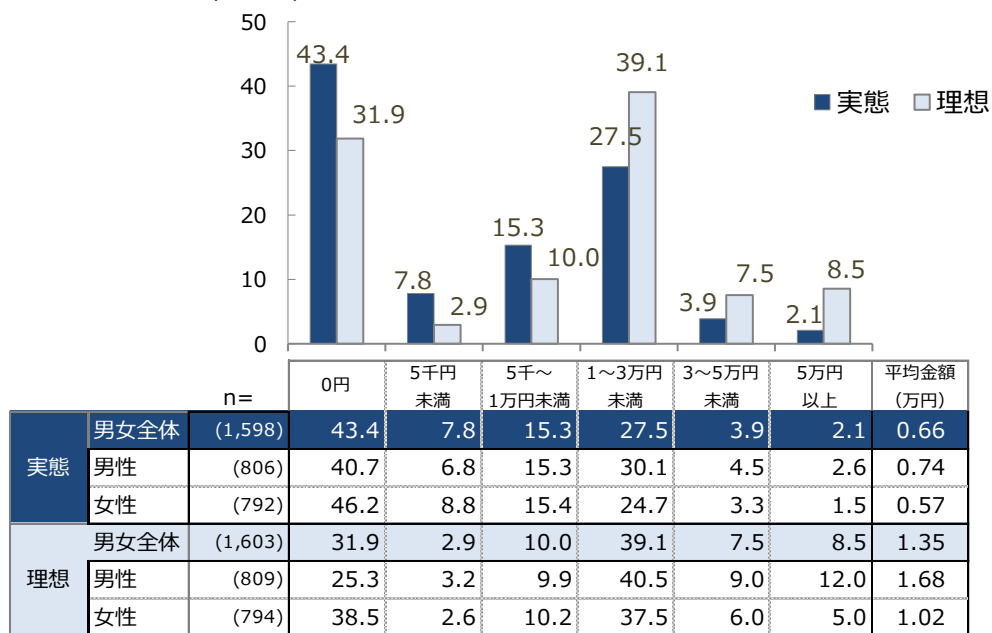
バレンタインデーでは「何もしない」と答えたシニアが 71.8%を占めたが、「プレゼントを贈る」と答えたシニアも 24.6%(女性シニア 32.6%、男性シニア 16.1%)いることがわかった。(いずれも複数回答可)また、「ホワイトデー」でのプレゼントは男性シニア 25.1%、女性シニア 13.0%と、プレゼントを贈る人が必ずしも男女はっきり分かれている訳ではなかった。

一方で、「特に何もしない」と回答したシニアもあり、夫婦のドライな関係も伺えた。(【表2】参照)

質問：配偶者への記念日のプレゼントにかかる金額とその理想の金額は？

【図3】 配偶者への記念日のプレゼントにかかる金額分布

(単位：％)

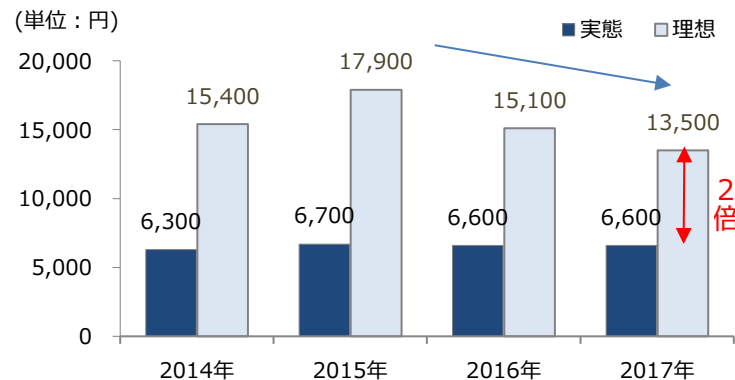


(単位：％)

配偶者への記念日(誕生日、結婚記念日等)のプレゼントにかかる金額を聞くと 56.6%のシニアがプレゼントを贈っていることがわかった(※「0円」と答えた人以外)。プレゼントの金額は「1～3万円未満」が 27.5%と最も多く、次いで「5千～1万円未満」が 15.3%であった。男女別に見ても「1～3万円未満」が男性シニア 30.1%、女性シニア 24.7%と最も多い金額となっている。

プレゼントにかかる理想の金額は、「1～3万円未満」が 39.1%と回答が集中し、次いで「5千～1万円未満」が 10.0%であった。男女別に見ても理想は「1～3万円未満」が最も多く、男性シニアが 40.5%、女性シニアが 37.5%であった。(【図3】参照)

【図4】 配偶者への記念日のプレゼントにかける金額の実態と理想



配偶者への記念日のプレゼントの平均金額（実態）は 6,600 円(前年同額)であるが、理想額の平均は 13,500 円(前年比 1,600 円減)と、実態と 2 倍の差となっている。ただし理想とするプレゼント金額は一昨年から減少傾向だが、実態の金額はこの 4 年間あまり変動していない。(【図4】参照)

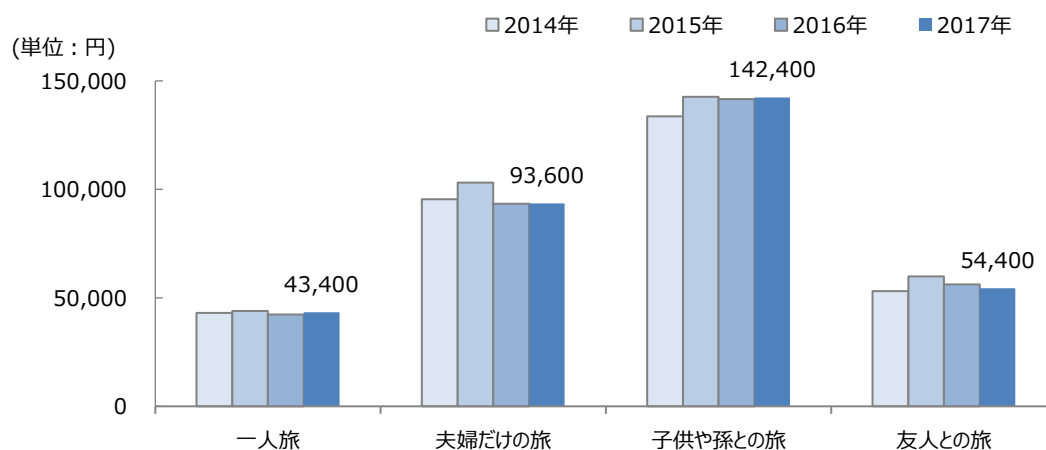
3. 夫婦での旅行、平均金額は国内旅行 93,600 円、海外旅行 404,600 円。

～夫婦でいく旅行より、子どもや孫との旅行に多くの費用をかけるシニア～

質問：国内・海外の旅行についてあなたが普段使う平均的な金額は？

■国内旅行費用(平均金額)

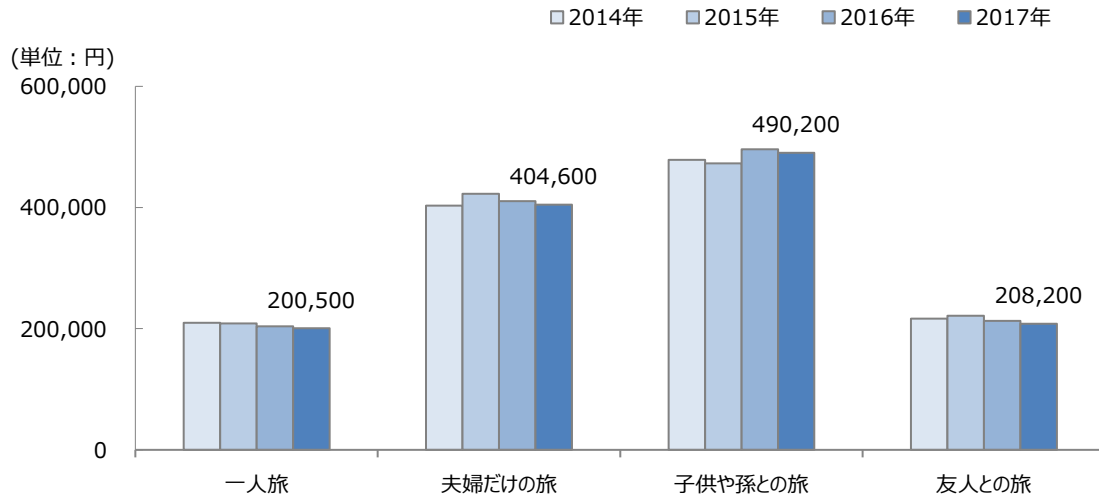
【図5】 国内旅行費用(平均金額)



国内旅行の費用について同伴者別に聞いたところ、その平均金額は「子供や孫との旅」が最も高く 142,400 円(前年比 800 円増)、次いで「夫婦だけの旅」が 93,600 円(前年比 200 円増)、「友人との旅」が 54,400 円(前年比 1,800 円減)、「一人旅」が 43,400 円(前年比 1,100 円増)と続く。友人との旅以外は全て前年を上回った。(【図5】参照)

■海外旅行費用(平均金額)

【図 6】 海外旅行費用(平均金額)



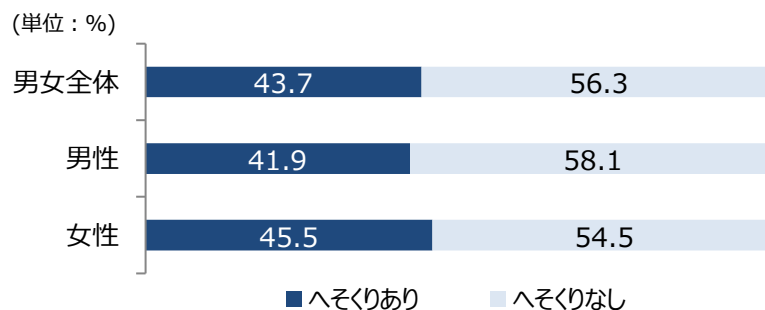
海外旅行の費用(平均金額)は「子供や孫との旅」が 490,200 円(前年比 6,100 円減)、「夫婦だけの旅」が 404,600 円(前年比 5,700 円減)、「友人との旅」が 208,200 円(前年比 4,500 円減)、「一人旅」が 200,500 円(前年比 3,600 円減)と、軒並み減少。(【図 6】参照)

4. 「内緒で買ったものはない」夫婦でも、“ヘそくり”はしっかり確保。

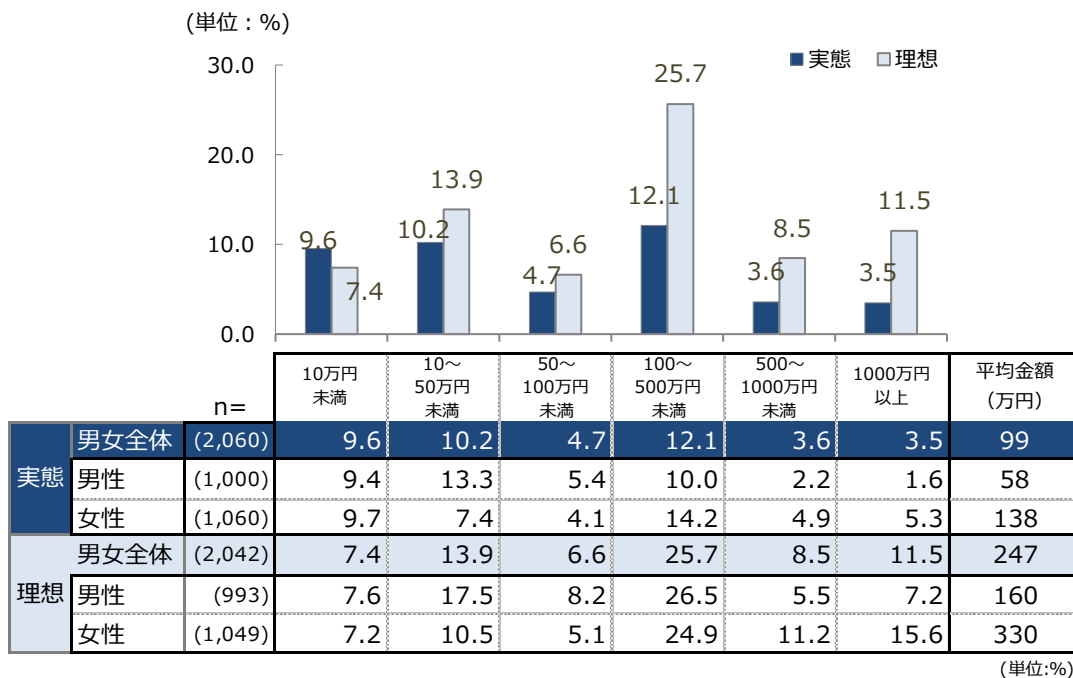
～平均金額 99 万円。男性シニア 58 万円、女性シニア 138 万円と 2 倍以上のひらき～

質問：実際にしている「ヘそくり」額と理想の「ヘそくり」額は？

【図 7】 「ヘそくり」の有無 ※ヘそくり額を「0 円」と回答した方を「ヘそくりなし」としています



43.7%のシニアはヘそくりを持ち、その平均金額は 99 万円(前年比 1 万円減)と、前年並みの結果だった。(【図 7】参照)

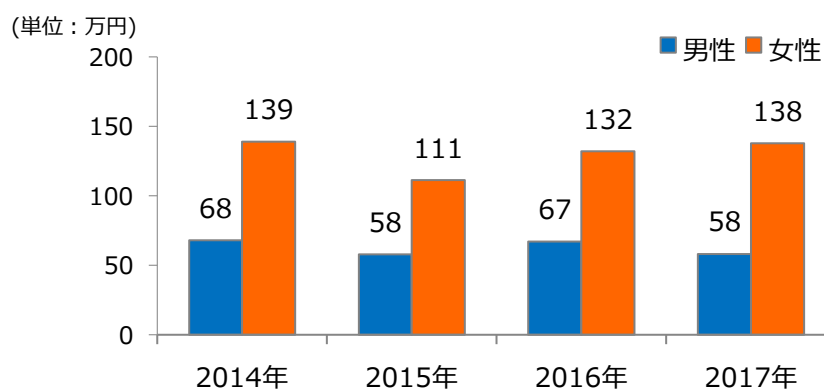
【図 8】 ヘそくり額の実態と理想の金額分布


※上記グラフでは、「ヘそくり」の金額を0円と回答した方を表示しておりません。

※「平均金額」には0円と回答した方も含まれております。

ヘそくりをしている人(ヘそくりをしていない人[0円]除く)について、男女全体では「100~500万円未満」(12.1%)と「10~50万円未満」(10.2%)が多数派という結果になった。男女別では、男性シニアは「10~50万円未満」(13.3%)、女性シニアは「100~500万円未満」(14.2%)が多数派となっている。ヘそくり理想額は男女ともに「100~500万円未満」(男女全体 25.7%、男性シニア 26.5%、女性シニア 24.9%)が多数派となっている。(【図 8】参照)

■ヘそくり額(実態)の男女差推移

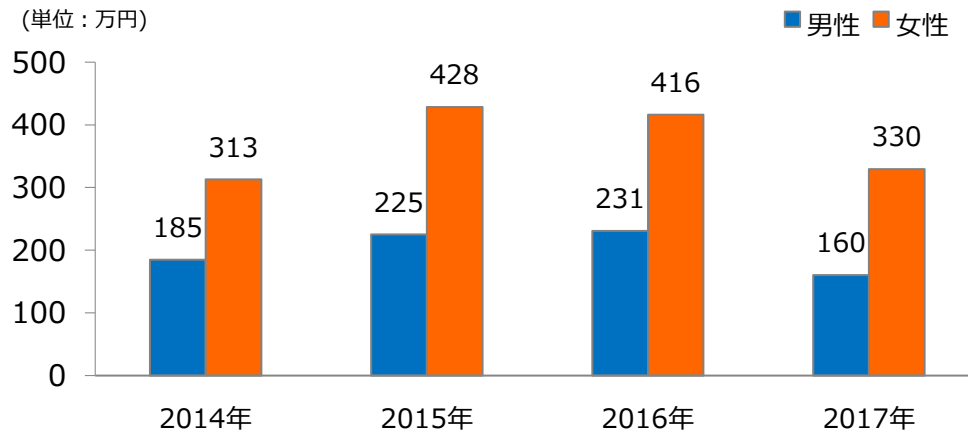
【図 9】 男女別ヘそくり額(実態)(2014年~2017年)


ヘそくり額(実態)の平均は、男性シニア 58万円(前年比 9万円減)、女性シニア 138万円(前年比 6万円増)と、前年同様女性シニアは男性シニアの2倍超。男女差も80万円となり、昨年の男女差(65万円)からさらに広がりを見せた。(【図 9】参照)

約2/3のシニアが「配偶者に内緒で買ったものはない」としながら、内緒のお金 = 「ヘそくり」はしっかり貯めていることが浮き彫りとなった。

■ヘそくり額(理想)の男女差推移

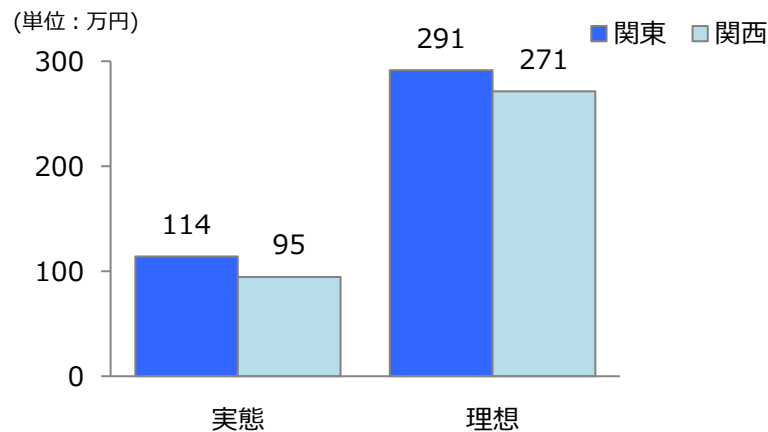
【図 10】 男女別ヘそくり額(理想)(2014年～2017年)



ヘそくり額(理想)の平均金額を男女で比較すると、男性シニア 160 万円(前年比 71 万円減)、女性シニア 330 万円(前年比 86 万円減)で、前年と比べ男女とも大幅に減少する結果となった。それでも男女差は 2 倍以上あり、女性シニアの「ヘそくり」に対する意識の高さが窺える。(【図 10】参照)

■ヘそくり額の東西比較

【図 11】 ヘそくり額(実態・理想)の関東・関西比較



ヘそくり額を東西で比較すると実態も理想も、関東（東京、神奈川、埼玉、千葉）の方が関西（大阪、兵庫、京都、奈良）より高かった。実態は、関東が 114 万円（前年比 21 万円増）、関西が 95 万円（前年比 44 万円減）。一方、理想は関東が 291 万円（前年比 32 万円減）、関西が 271 万円（前年比 119 万円減）という結果になった。(【図 11】参照)